

私たちは「安全」を何よりも優先します！

安全管理

1. 安全とは

すべての製造企業が「安全第一」を唱えるように、安全はモノづくり企業の大前提である。

企業活動で安全を維持し社員やその家族を大切にすることは当然であり、社会に対する企業の使命でもある。しかしながら、図1、図2のような安全軽視の過去がわが国でもあった。なお、ここでは交通災害などを除く労働災害を対象とする。

(1)労働災害の推移(図1、図2)

・図1で1960年～70年まで11年連続で年間6,000人以上の死亡者があったものが、2017年には978

図1 労働災害における死亡者数

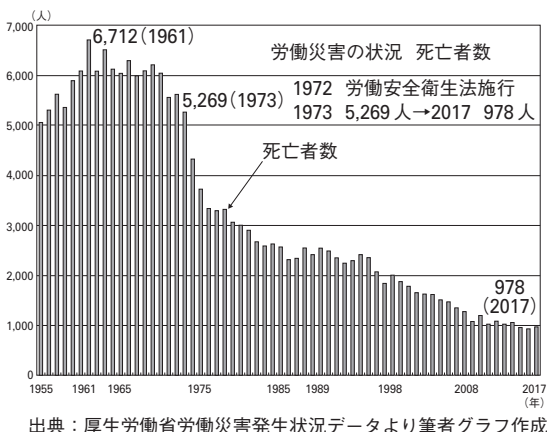
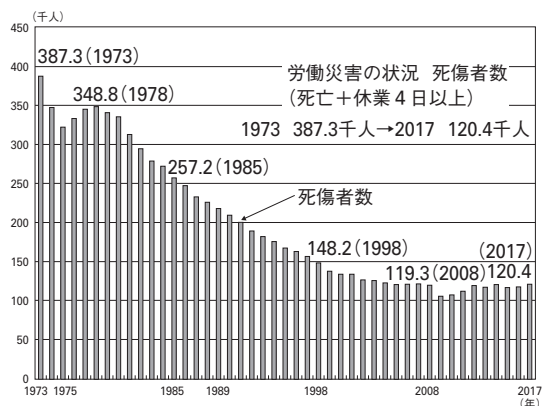


図2 労働災害における死傷者数



人まで減少した(1972年法規制強化)。

・図2で死傷者(死亡+休業4日以上)も約38万人強(1973年)→約12万人(2017年)に減少

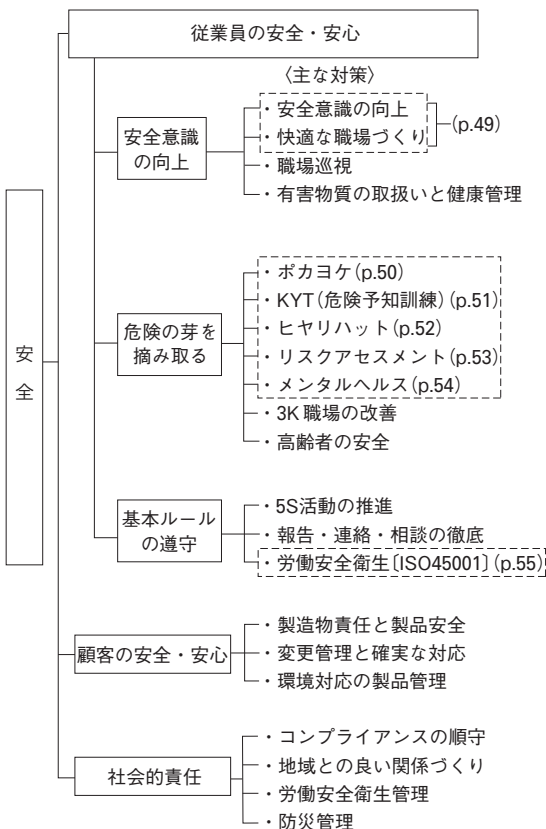
図1に示す通り、近年は死亡者数が1,000人を切ったものの、世界的に見れば最も安全対策の進んでいるイギリスでは年間200人以下となっており、まだまだわが国の安全管理は不十分と言わざるを得ない。今後とも安全問題は重要視されてくることは当然で、この章ではどのような具体策があるかにポイントを絞って述べてみたい。

2. 安全管理での取り組み課題

安全には「従業員の安全・安心」「顧客の安全・安心」「社会的責任」の3つの基本課題があり、以下のような主な対策が考えられる(図3)。

これらの中で、本章では「従業員の安全・安心」に的を絞り、図3の点線枠の項目を次ページ以降で詳しく述べることにする。

図3 安全管理の取り組み課題



(藤井 春雄)